

◇ 進度

教科(科目)	福祉 (介護実習)	実施学年 (履修規定)	第2学年 必修
単位数	福祉科 5単位	教科書	介護総合演習 (メヂカルフレンド社)
		副教材	
科目の目標	介護に関する体験的な学習を多様な介護の場において行い、知識と技術を統合させ、介護従事者としての役割を理解させるとともに、適切かつ安全な介護ができる実践的な能力と態度を育てる。		
目標達成に向けての取組	多様な介護の場における実習をととして、サービス利用者の理解を図る。		

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4				
5		○事前健康診断の実施	受診への取り組み	・体調管理への意欲
6		○事前オリエンテーションの実施	記録簿	・施設概要及び実習内容の理解が出来ている。
7	基礎実習 (前期)	特別養護老人ホームにおける介護習 介護老人保健施設における介護 障害児・者施設における介護 グループホームにおける介護 養護老人ホームにおける介護 前期10日間 (7.5時間×10)	施設巡回指導 実習記録簿 カンファレンスシート アセスメントシート	・実習への心構えができています。 ・事前準備や学習ができています。 ・目標を持って実習に臨んでいます。 ・記録の基本的記入方法が習得できる。 ・利用者や職員とコミュニケーションは図られています。 ・介護業務の流れの理解ができています。
8	夏季休暇			
9	基礎実習 (後期)	後期13日間 (7.5時間×13) 通所介護施設における介護		・施設の種別や利用者に応じた介護内容を理解している。 ・利用者の状況を観察できる。
10				
11				
12	訪問介護実習	○高齢者宅の訪問介護実習 訪問介護事業所(4時間×1)	実習先打ち合わせ 記録	・在宅介護の実際を理解しようとしている。 ・訪問介護員のマナーが守れる。
	冬季休暇			
1				
2				
3				

評価の観点及び趣旨

① 関心・意欲・態度

社会福祉に関して学んだ基本的知識や技術を、高齢者や障害者の総合的介護における対人援助場面において、実践して主体的に学ぼうとする。また、介護実習を通じて介護専門職の職業観、勤労観を持つ。

② 思考・判断

社会福祉に関して学んだ基本的知識や技術を、高齢者や障害者の総合的介護における対人援助場面において、統合的に思考し判断できる。

③ 技能・表現

社会福祉や介護に関して学んだ基本的知識や技術を活用して、高齢者や障害者の総合的介護において、総合的に援助の技術を用いて、適切に表現する。

④ 知識・理解

福祉施設における高齢者や障害者の介護や福祉制度のあり方について科学的に理解する。

「社会福祉実習」の総合評価における各観点の割合

① 関心・意欲・態度	25%程度	② 思考・判断	25%程度
③ 技能・表現	25%程度	④ 知識・理解	25%程度